

Crown[®]

マニュアルバルブ取扱説明書

SPMVシリーズ 392シリーズ

 **重 要**

本取扱説明書は、SPMV、392 シリーズを安全にご使用していただくためのものです。本製品をご使用いただく前に、必ず本取扱説明書を読み、内容を十分理解した上で、ご使用くださいますようお願い申し上げます。

本取扱説明書に従わない不適切な操作や整備は、重大な人身事故につながる危険性があります。

本取扱説明書は、常に製品の側に保管し、何時でもお読みいただけるようにしてください。

本取扱説明書以外に、高圧ガス保安法、労働安全衛生法、及び、本製品と併せてご使用になられる機器類の取扱説明書も併せてお読みください。

 **株式会社 イタ力**

目 次

1. まえがき.....	1
2. 製品の概要.....	1
2. 1. 各部の名称.....	1
2. 2. 仕様.....	2
3. ご注意事項 -安全にご使用していただくために-.....	3
4. 使用方法.....	5
4. 1. 使用準備.....	5
4. 2. 操作.....	6
4. 3. ガス漏洩検査.....	7
4. 4. 作業の終了.....	7
5. 保守点検.....	7
5. 1. 日常点検.....	7
5. 2. 定期点検.....	7
6. 保管.....	8
7. 修理.....	8
8. 製品保証範囲に関する事項.....	9
9. お問い合わせ先.....	10

1. まえがき

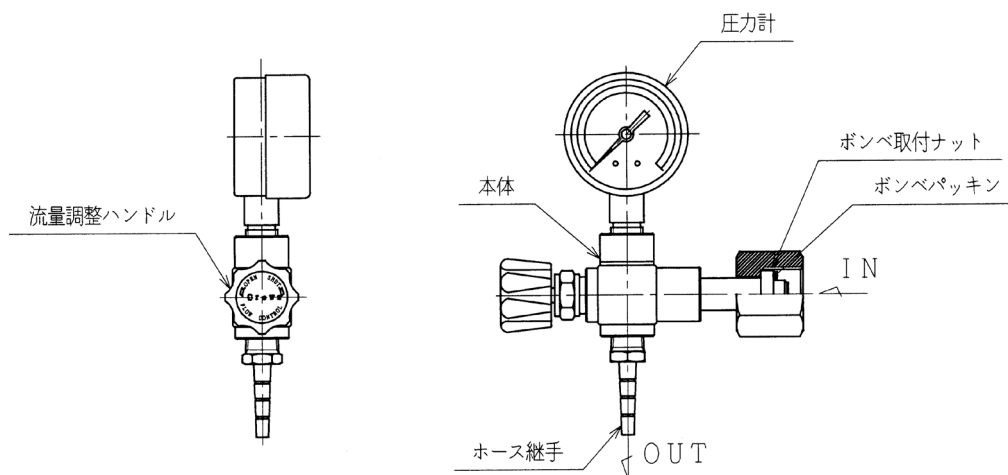
この度は、**Crown SPMV**、392 シリーズをお買い上げいただきありがとうございます。本製品をご使用いただく前に、必ず本取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取り扱い方法のもとに、本製品の機能を十分に生かしてご使用下さいます様に、お願い申し上げます。

本取扱説明書に従わなかった場合には、重大な事故に結び付く事がありますので、ご注意ください。本取扱説明書にてご不明な点がございましたら、(株)ユタカまでお問い合わせください。また、本取扱説明書の中で、本製品の安全な取り扱い方法をよりご理解いただくために、安全についての説明表示を次のように使い分けております。

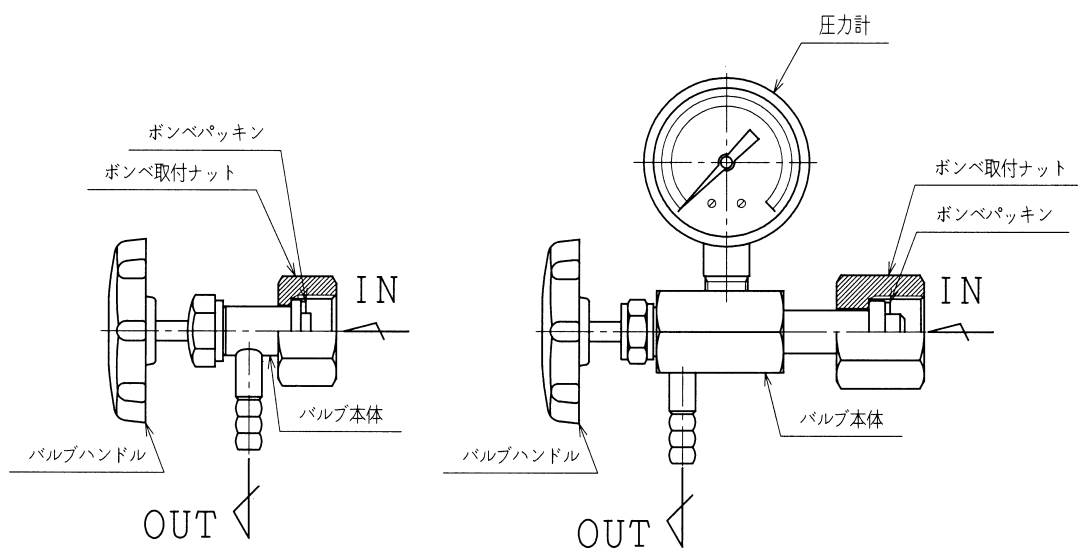
- ⚠ 危険**：回避できなかった場合、死亡又は重傷を負うことに至る切迫した危険状態となる場合の注意事項。
 - ⚠ 警告**：回避できなかった場合、死亡又は重傷を負う可能性が有る危険状態の場合の注意事項。
 - ⚠ 注意**：回避できなかった場合、軽傷又は中程度の障害を負う可能性が有る危険状態の場合、又は、物的障害の発生が予測されるような種類の危険状態になる場合の注意事項。
 - ⚠ 重要**：当然守るべき法的規制等の製品取り扱いの最も基本的な遵守事項。

2. 製品の概要

2.1. 各部の名称



S P M V



392 (活栓)

392-P

2.2.仕様

品番(形式)	項目	圧力計 [MPa]	入口継手	出口継手	材質	適用ガス(参考)
SPMV-A5-2RFH06		2.5	W22-14R	φ6 継手	SCS14 (SUS316)	アンモニア
SPMV-5A-2RFH06		25	W22-14R			一酸化炭素
SPMV-6B-2LFH06		6	W22-14L			硫化水素
SPMV-A5-6RFH06		2.5	W26-14R			塩素, 二酸化イオウ
SPMV-A2-PLFH06		1	W22.5-14L 凸			塩化ビニール
SPMV-A2-2LFH06		1	W22-14L			ジメチルアミン トリメチルアミン
SPMV-R6-2RFH06		-0.1~0.6	W22-14R			
SPMV-2A-6RFH06		10	W26-14R			塩化水素
SPMV-6B-2RFH06		6	W22-14R			
SPMV-B6-2RFH06		0.6	W22-14R			
SPMV-00-2RFH06		—	W22-14R			各種ガス
392-P		25	W22-14R	φ8 ホース	C3604BD	各種ガス
392		—	W22-14R			

3. ご注意事項 —安全にご使用していただくために—

 危 険
--

<p>①本製品及び周辺機器の損傷，人身事故や爆発等の危険を回避する為の安全予防措置として、下記(1)～(12)の事項を遵守してください。</p>
--

(1)油分等の禁止

本製品に、油分，グリース，水分やゴミが付着していたり、これらの異物が内部に入った場合、本製品が腐食したり、使用されているガスの外部への漏洩、さらに機能を損なう危険性があります。

尚、本製品に潤滑油やグリースの補給を必要とする機構はありません。

(2)外観の確認

外観上破損している部分が発見されたり、ガス漏洩の疑いがある場合は、弊社又は販売代理店で安全を確認してからご使用ください。

(3)ご使用されるガスの確認

外装箱に明示されているガス以外には、使用しないでください。

(4)仕様及びご使用条件の確認

本製品は、ご注文された時にご指定された仕様で製作しております。下記①～④の事項をご確認のうえ、ご使用条件が本製品の仕様と整合性があるかどうかご確認してください。

- ①適用ガス
- ②ご使用になる圧力
- ③入口，出口継手の種類と形状
- ④取付けられている圧力計

本製品の仕様とご使用条件が一致しない場合、本製品の破損、ガスの漏洩等の危険があります。

(5)圧力計の仕様範囲の確認

圧力計の仕様範囲は、最高目盛値の 2/3 以下の範囲となっております。

(6)接続部気密の確認

接続部からガスの漏洩が無いことを、使用前および使用中にご確認ください。又、ねじ部やホース等の接続部に大きな力を加えないでください。気密の確認には、石鹼水（家庭用中性洗剤を 10～20 倍に水で薄めたもの）を使用してください。

(7)作業環境の確認

本製品を使用される作業場は、使用されるガスにより酸欠状態とならないように良

好な換気を行ってください。

(8)屋外における使用の制限

本製品は、防水構造とはなっておりません。本製品を、屋外でご使用になる場合には、直接雨水がかからないように適切な防滴保護の措置を行ってください。

(9)高圧ガス容器(ボンベ)の取り扱い

高圧ガス容器の取り扱いに関しては、高圧ガス保安法を遵守し、貴社社内規準に従って正しく管理してください。高圧ガス容器は、高圧ガスが充填されていますので、取り扱いを誤ると、高圧ガスが吹き出したり、本製品が破裂し人身事故を発生させることがありますので、下記の事項を遵守してください。

- ①高圧ガス容器が転倒すると、重大な人身事故を負う事があります。
- ②高圧ガス容器は、専用の容器立てやチェーンで固定してください。高圧ガス容器は、必ず垂直に固定し、横倒しの状態で使用しないでください。
- ③高圧ガス容器は、その内部圧力が温度によって変化します。高圧ガス容器が直射日光にさらされたり、熱源の側に置かれていると、内部圧力が上昇し、容器弁自体の安全弁が作動することがあります。高圧ガス容器の保管及び設置場所は、高温になる場所を避け、温度 35℃以下に保ち、周囲 5m 以内においては、喫煙及び火気の使用を禁じ、尚且つ、引火性又は発火性のある物を置かないでください。
- ④高圧ガス容器弁の取付け部分の油分、グリース、水分、ゴミ、泥や砂等の付着物は、ご使用前に必ず取り除き、十分掃除してください。
- ⑤高圧ガス容器へ本製品を取付ける前に、本製品のボンベ取付けナット内部に、ボンベパッキンが挿入されていることをご確認ください。挿入されていない場合は、付属のボンベパッキンを挿入してください。

危 険

①高圧ガス容器(ボンベ)の容器弁を開く時は、本製品の正面及び背後に立たないでください。

⑥容器弁は、ゆっくりと少しずつ開き、本製品内にガスが完全に入ってから全開状態としてください。

⑦高圧ガス容器を移動させる時は、本製品を取り外してください。

(10)未使用時の保管


本製品を、長期間使用されない場合には、高圧ガス容器(ボンベ)から外して、保管してください。又、保管中は、本製品にゴミ、塵埃、水分等が入らないような場所で保管してください。湿度の高い場所に1ヶ月以上放置すると、内部に腐食を生じる場合があります。保管期間が、1ヶ月以上となる場合には、本製品を乾燥剤と共にビニ

ール袋へ入れて、密封して保管してください。

- (11)弊社以外で、本製品の分解修理や改造を行った場合、重大な人身事故の原因になりますので、絶対にしないようお願い申し上げます。
- (12)定格仕様を超えたご使用による故障及び事故、弊社又は専門修理工場以外で分解された製品による故障及び事故については、保証しかねます。また、これら製品の状態によっては修理に応じられない場合があります。

4. 使用方法

4. 1. 使用準備

 警 告
<ul style="list-style-type: none"> ①高圧ガス容器(ボンベ)を移動させる時は、本製品を取り外して、容器にキャップを取付けてください。 ②高圧ガス容器(ボンベ)は、直射日光等により、温度が 35℃以上にならない様に設置してください。 ③本製品に、衝撃を与えない様に大切に取り扱いってください。 ④使用中に、故障や不具合が発生したり、ご不明な点がある場合は、直ちにご使用中を中止し、弊社 又は 販売代理店にご連絡ください。

操作は、必ず以下の手順に従って行ってください。この手順に従わない場合、重大な人身事故を発生させることがあります。

(1) 高圧ガス容器（ボンベ）への取付け

- ① 高圧ガス容器がしっかりと垂直に固定されていることを確認してください。絶対に横倒し状態で使用しないでください。
- ② 高圧ガス容器へ本製品を取付ける前に接続部分のごみ、水分等を除去してください。毒性ガス及び可燃性ガス以外の場合は、本製品を取付ける前に容器バルブを数回瞬間的に放出させると簡単に除去できます。なお、この方法は、絶対に毒性ガス及び、可燃性ガスでは、絶対行わないでください。また、本製品の高圧ガスへの取付け部分の油分、グリース、水分、ゴミ、泥や砂利等の付着物は、ご使用前に必ず取り除いてください。本製品内にゴミが入った場合、ガスの漏洩、ガス通路の閉塞等、故障の原因となります。
- ③ 本製品のボンベ取付けナットの内部にボンベパッキンが挿入されていることを確認してください。挿入されていないときは、ボンベパッキンを必ず入れてください。また、ボンベパッキンが損傷している場合は、新品のパッキンと交換してください。
- ④ ボンベ取付けナットを、高圧ガス容器の取付けねじに、止まるまで手でねじ込んで

ください。

 **警 告**

- ①高圧ガス容器のねじ山が変形して、本製品が取付けにくい時は、無理に取付けしないでください。無理な取付けにより高圧ガス容器および本製品のねじ山を傷つけ、重大な人身事故に結びつくことがあります。

- ⑤ ボンベ取付けナットの二面幅に適したスパナまたは、モンキーレンチを用いて、ガス漏洩がないように、ボンベ取付けナットを確実に締付てください。この時、圧力計が正面を向くように取付けてください。

(2) ご使用機器への接続

本製品の出入口継手とご使用される機器とを接続してください。この時、必ずご使用される機器の取扱説明書も併せてお読みください。

 **警 告**

- ①本製品出入口継手とホース等のガス配管接続部はガス漏洩がないように確実に締め付けてください。

4. 2. 操作

 **警 告**

- ①高圧ガス容器弁を開く時、作業者は本製品に対して斜め前に立ち、圧力計の正面には絶対に立たないでください。
 ②高圧ガス容器弁の開閉は、専用の容器開閉ハンドルを使用してください。
 ③容器開閉ハンドルは容器に取付けたままにしておき、急な場合すぐに閉じることが出来るようにしておいてください。
 ④容器弁はゆっくりと開けてください。急激に開けると、内部の温度が上昇したり、圧力計が破裂することがあります。
 ⑤作業者が作業中に作業器具を持ったまま、容器弁を開閉しないでください。

- (1) 本製品とご使用される機器とが、確実に接続されていることをご確認してください。
 (2) ご使用される機器側のバルブ類、出口側のバルブを閉じガスが流れない状態にしてください。
 (3) 容器開閉ハンドルを手で軽く叩き、1秒間に5度程度の割合でゆっくりと少しずつ開き、その後、容器弁を全開してください。

4. 3. ガス漏洩検査

- (1) 本製品のねじ込み部や各接続部に石鹼水（家庭用中性洗剤を 10～20 倍に水で薄めたもの）を塗付し、ガス漏洩が無いことをご確認してください。
- (2) ガスの漏洩が発見された場合は、すみやかに使用を中止し、弊社または販売代理店にご連絡ください。

4. 4. 作業の終了

- (1) 高圧ガス容器(ボンベ)の、容器弁を閉じてください。
- (2) ご使用の機器側のバルブを全開とし、本製品内のガスを圧力計の指針が 0MPa になるまで放出してください。
- (3) 出口側バルブを全閉とし、機器側のすべてのバルブ類も閉じてください。

5. 保守点検

 注 意

- | |
|---|
| <p>① 安全維持の為、定期的な保守点検を行ってください。保守点検を怠りますと、重大な人身事故が起こる事があります。又、ご不明な点は、必ず弊社 又は 販売代理店にご確認ください。</p> |
|---|

5. 1. 日常点検

原則として1日1回、使用前に行ってください。

- (1) 本製品内にガスが入っていない状態で、圧力計の指針が 0Mpa を示していることをご確認ください。
- (2) 本製品にガスが入っている状態で、各ねじ込み部及び、各接続部に石鹼水(家庭用中性洗剤を 10～20 倍に水で薄めたもの)を塗布し、ガスの漏洩が無い事をご確認ください。
- (3) ガス供給後、流量調整がスムーズに出来ることをご確認ください。
- (4) 上記の点検により、不具合が発生した場合は、直ちにガス抜きを行い当該製品を取り外し、弊社 又は 販売代理店へ修理を依頼してください。

5. 2. 定期点検

高圧ガス保安の見地から、本製品を安全且つ効果的にご使用いただく為、ご使用状況、状態に応じ、最低年1回を目処に部品交換を含めた定期点検を行ってください。

ご使用者又は、ご購入者が、本製品の分解修理や改造を行った場合、重大な人身事

故の原因になりますので、絶対になさらないようお願い申し上げます。

6. 保管

- (1)長期間使用しない場合は、本製品を高圧ガス容器(ボンベ)から外して保管してください。
- (2)保管は、本製品内にゴミ、水分等が入らないような場所で保管してください。
- (3)保管期間が1ヶ月以上となる場合には、本製品を乾燥剤と共にビニール袋に入れ、密封して保管してください。湿度の高い場所に1ヶ月以上放置すると、内部機構に腐食を生じる場合があります。
- (4)恒温状態で保管し、保管温度は -20°C ～ $+60^{\circ}\text{C}$ 以内としてください。

7. 修理

危 険

- ①下記の故障が確認された場合、ならびに、本取扱説明書に記載されていない現象が発生した場合や、ご不明な点がある場合は、直ちにご使用を中止し、弊社 又は 販売代理店にご連絡ください。
- ②ご使用者又はご購入者が、弊社の許可無く、本製品の分解、修理や改造をを行った場合、重大な人身事故発生の原因となりますので絶対しないようお願い致します。その様な場合の不具合や事故の発生に付きましては、弊社の責任外とさせていただきます。

下記の故障が発生した場合には、修理が必要です。直ちにご使用を中止し、弊社 又は 販売代理店にご連絡ください。但し、ご使用の状態によっては、修理が出来ない事もあります。

- (1)本製品内にガスが入っていない状態で、圧力計の指針が0Mpaに戻らない。
- (2)本製品内にガスが入っている状態で、各ねじ込み部又は、各接続部からガスが漏洩している。
- (3)ガス供給後、流量調整がスムーズに出来ない。
- (4)ガス供給後、圧力計指針が上がらない。
- (5)圧力計が破損している。

8. 製品保証範囲に関する事項

(1) 保証範囲

当社が製造した製品に関し、使用する材料、製造技術からのみ生ずる欠陥、もしくは故障に関する製品の保証期間を製品出荷の日より一年間と致します。

但し、以下の事項については当社の保証範囲外と致します。

- ① 購買者又は使用者の不注意、当該製品の全部、又は、一部の不適切な取扱い、
据え付け、保管によって生ずる損害、または、故障。
- ② 腐食性ガスに使用する製品の腐食、又は、ガスからの生成物に起因する故障。
- ③ 購入者が購入後、製品の分解、又は改造を行った場合、それら作業を行った部分
及び、改造を行ったことに起因する欠陥、故障。
- ④ 当社が補修部品として定めた部品の故障。

上記保証に基づいて、保証期間内に欠陥又は故障が発生した場合、当社は、欠陥を有する部品、故障した部品を無償にて新品と交換するか、又は、無償で修理し、もしくは当社の選択により第三者にて修理するよう致します。

尚、修理の方法に関しましては、当社の裁量の範囲とさせていただきます。

(2) 免責事項

当社の責任で、製品の欠陥又は故障が保証期間内で発生した場合、それに対する補償に関する責任範囲は、製品の無償での修理、又は、交換迄とさせて頂き、欠陥又は故障製品による2次的なお客様の損失の負担は、免責事項とさせていただきます。

9. お問い合わせ先

本製品に関するお問い合わせは、下記弊社営業部 又は 販売代理店までお願い致します。

株式会社 コタカ

本社

東京営業所 〒146-0085 東京都大田区久が原 5-17-5

TEL 03-3753-1651(代表)

FAX 03-3751-5177(代表)

大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-6-2

TEL 06-6305-0053

FAX 06-6305-0050

名古屋営業所 〒491-0824 愛知県一宮市丹陽町九日市場字中田 195-1

TEL 0586-77-9801

FAX 0586-77-9802

九州営業所 〒830-0034 福岡県久留米市大手町 3-7

TEL 0942-37-0331

FAX 0942-37-0361

2009.1.15 改訂